

# 第49回全日本シニアボウリング選手権大会

## 開催要項

主催：公益財団法人全日本ボウリング協会

後援：愛知県教育委員会、公益財団法人愛知県体育協会、稲沢市、稲沢市教育委員会  
稲沢市体育協会、稲沢市ボウリング協会、全国ボウリング公認競技場協議会

協力：公益財団法人ミズノスポーツ振興財団

主管運営：愛知県ボウリング連盟

開催月日：平成28年6月24日（金）～26日（日）（3日間）

会場：稲沢グランドボウル 公競No.122-64号 BW116レーン  
〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町80-1 TEL 0587-21-2131

競技種目：〔シニア部門・ハイシニア部門〕

男子・女子別 個人戦・2人チーム戦・選手権者決定戦

〔マスターズシニア部門〕

男子・女子別 個人戦

年齢区分：シニア部門 平成28年4月1日現在、満50歳から満64歳までの者  
ハイシニア部門 平成28年4月1日現在、満65歳から満74歳までの者  
マスターズシニア部門 平成28年4月1日現在、満75歳以上の者

競技方式：デュアルレーン方式（アメリカ方式）で実施する。

競技方法：1）男女シニア・ハイシニア部門は、個人戦・2人チーム戦ともに、それぞれ6ゲームの競技を行い（3ゲーム毎にレーン移動）、その合計得点により各種目の順位を決定する。

2）選手権者決定戦は、個人戦、2人チーム戦の2種目（12ゲーム）の個人総得点の上位より男子シニア24名、男子ハイシニア24名、女子シニア16名、女子ハイシニア16名（参加人数により変更することがある）を選出し、更に3ゲームの競技を行い、合計15ゲームの総得点により、各部門の選手権者並びに順位を決定する。

- 3) 男女マスターズシニア部門は、予選9ゲームの競技を行い（3ゲーム毎にレーン移動）、その合計得点の上位より、男子16名、女子12名（参加人数により変更することがある）を決勝出場者とする。  
 決勝は更に3ゲームの競技を行い、合計12ゲームの総得点により順位を決定する。

ハンディキャップ：1ゲームにつき、下記のハンディキャップを与える。

部 門	年 齢	H/C	年 齢	H/C
男・女シニア	50～59 歳	0 点	60～64 歳	5 点
男・女ハイシニア	65～69 歳	0 点	70～74 歳	5 点
男・女マスターズシニア	75～79 歳	0 点	80～84 歳	5 点
	85 歳以上	10 点		

年齢基準は、平成28年4月1日現在の満年齢とする。

競技規程：JBC選手権競技会規程並びにJBCボウリング競技規則を適用する。

同位の裁定：各種目において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。

ただし、選手権者決定戦及びマスターズ部門決勝において1位と2位が同点の場合は9・10フレームの決定戦により順位を決定する。

参加資格：平成28年度のJBC登録会員（個人正会員、実業団会員）で、各連盟に所属する満50歳以上（平成28年4月1日現在）で、各連盟から選出された代表選手であること。（ただし、個人普通会員は、個人正会員に登録変更すれば参加できる。）

参加割当：各部門は、JBC競技委員会にて別紙のとおり割り当てる。

男女マスターズシニア部門はフリーエントリーとするが、先着100名で締め切る。

施設使用料：1) 男女シニア、男女ハイシニアの各部門 1名 14,500円  
 2) 男女マスターズシニア部門 1名 12,800円

褒 賞：1) 個人戦（6部門） 優勝～第6位  
 2) 2人チーム戦（4部門） 優勝～第6位  
 3) 選手権者決定戦（4部門） 優勝～第6位  
 4) 加盟団体表彰 各部門優勝者が所属する加盟団体  
 5) 選手権者決定戦出場賞 選手権者決定戦出場者及びマスターズシニア決勝  
 出場者全員  
 6) 個人ハイゲーム賞、個人ハイシリーズ賞（各部門 男・女別 スクラッチ）

注) ただし、選手権者決定戦並びに決勝戦は対象としない。

- 7) 最高年齢者特別表彰 男・女 各1名
- 8) 参加賞 参加者全員に贈る。

申込締切：平成28年5月23日（月）期限厳守のこと

申込方法：別紙所定の申込用紙に必要事項を記入し、各連盟が取りまとめて施設使用料を添え、期日までに下記へ申し込むこと。

愛知県ボウリング連盟 〒453-0044 名古屋市中村区鳥居通4-21

TEL 052(433)9910 FAX 052(433)9911

[振込銀行] 三菱東京UFJ銀行 鳴海支店 普通口座 212272

愛知県ボウリング連盟 会長 丹羽秀樹

☆ 注意事項 ☆

- 1) 参加選手は各自の責任で健康診断を受け、健康であることを証明された者が参加すること。  
また、「スポーツ安全保険」等に参加し、健康保険証を必ず持参すること。
- 2) 公認ゲーム消化証明は、各連盟の責任において確認すること。
- 3) 大会使用ボールの登録は2個目から1個500円の登録料を納入するものとする。  
5個目からは特別保管料として、1個につき1,000円を追加徴収する。
- 4) 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- 5) 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は1個500円（硬度検査のみ200円）とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- 6) 大会に使用するボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。
- 7) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。  
申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること
- 8) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。